

## シンポジウム報告

### シンポジウムテーマ：臨床と教育のつながり

看護専門職としてキャリア継続には、教育と臨床の場との「接続性：つながり」が重要であるといわれています。本看護学専攻では、大学院教育を基礎教育終了後のキャリア形成の場として位置づけ、社会人にも受講できる学びの道を設けています。臨床現場の方々が大大学院の修士課程で論理的な思考力や研究力など、看護の「核」となるものを学習することは、臨床現場での看護の質向上に寄与でき、臨床と教育をつなぐものと考えています。

そこで、本年度は、「臨床と教育のつながり」と題して、看護実践家や臨床で教育を担当し

ている4名の方をシンポジストにお迎えし、それぞれの立場から教育や臨床の体験をお話いただきました。

